

通常学級における多様な教育的ニーズのある児童に寄り添う学級担任への支援（要旨） —教育相談主任によるUDLに基づく授業づくり支援と 学級担任へのコンサルテーションによる校内支援体制の確立を目指して—

学校構想サブプログラム

越 佑喜

【指導教員】 堀田 香織 萩生田 伸子

【キーワード】 通常学級 多様な教育的ニーズ 教師支援 教育相談 UDL コンサルテーション

1. 問題と目的

文科省の調査によると、通常学級において、学習面又は行動面において著しい困難を示す子どもが8.8%在籍しているという報告がある（文科省2022）。また、共生社会の形成に向けて「障害のある子どもと障害のない子どもが可能な限り同じ場で共に学ぶことを目指すべき」（文科省、2023）としていることから、通常学級に多様な教育的ニーズのある子どもが複数在籍していることを前提とした授業づくりを検討する必要がある。

さらに、近年若手教師が増加している現状も踏まえると多様な教育的ニーズのある子どもへの対応について、「ベテラン教師に気軽に相談できるような体制の整備等、若手支援を学校の中で組織的に充実を図っていく必要がある」（2024 文科省）だろう。特に、学校生活の中で一番多くの時間を費やすのは授業であることから、多様な教育的ニーズのある子どもにとっても、また指導する若手教師にとっても授業支援が必要であると考えられる。

そこで、教育相談主任によるUDL（Universal Design for Learning）に基づく授業づくり支援と若手教師へのコンサルテーション支援の2つの視点から、校内支援体制構築に向けて検討していくこととする。UDLとは、全ての学習者の学びの伸びを助ける概念フレームワークのことである。

本研究の目的は、筆者が教育相談主任として通常学級担任に対して行った授業づくり支援を中心とした実践によるコンサルテーションプロセスモデルを生成することである。本研究は、多様な教育的ニーズのある子どもが複数在籍していることを前提とした授業づくりとそこに寄り添う学級担任を支援すると共に、校内支援体制を構築することに尽力する管理職や教育相談主任の一助となることを願うものである。

2. 方法

公立小学校において、通常学級の担任をしている若手教師2名に、UDLに基づく授業支援介入とコンサルテーション支援を行った。筆者は、参与観察者として加わった。介入の前後、授業実践フィードバックにおいて、1時間程度の半構造化面接を実施した。面接内容は、同意を得て録音し、逐語録に起こした後、SCAT分析を行った。SCAT分析により抽出された構成概念からカテゴリー化し、結果図と

ストーリーラインを生成した。

3. 結果

教育相談主任は、担任の悩みを把握し、受容をするとともに、担任にこれまでの教育実践について振り返りを促した。担任が抱える現在の悩みとこれまでの教師としての歩みを振り返り、支援方針を定めた。その際、担任が大切にしていることを尊重した関わりを意識すると共に、教師としてのどのような力を獲得したいかの明確化を行った。担任にとっての一番の悩みは、学級内において学力差があることであった。一斉授業の中での対応に苦勞している様子が語られた。

UDL授業実践を続けていく中で、徐々に担任が手応えを実感していることを確認した。教材を子どもたちが自由に選択できる環境を設定したことで、低学力の子どもにとっても高学力の子どもにとっても、学びを調整することが可能となり、全ての子どもが学びに向かえる授業づくりを実践していた。教育相談主任は、授業内に起こった子どもの様子を伝え、子どもの学びに向かう姿が肯定的に変化している様子を見取り、価値づけた。

教育相談主任による同僚性を発揮した伴走支援効果により、若手教師の自信の獲得がもたらされ、コンサルテーション支援が教育相談体制の充実に繋がったことを確認した。

4. 考察

UDL授業実践を通して、学級内の学力差に悩んでいた担任は、子どもの肯定的変化によりUDL授業実践が全ての子どもに有効な手立てであることに気づき、効果と手応えを実感していた。また、教育相談主任を「なんでも相談できる」存在であり、今回のコンサルテーション支援を「自分に関わってくれた。ためになった支援であった」と評価した。

本研究により、教育相談主任によるコンサルテーション支援は、授業づくりと若手支援に効果的に作用し、校内支援体制の構築に貢献した。一教諭である教育相談主任が、教育相談体制の一部としてコンサルテーション支援を行う意義が明らかとなり、困り感を抱える子どもや若手教師を支える校内支援体制の構築に貢献したことが確認された。

主な参考文献

文部科学省（2022）. 通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査結果について